

沖縄・辺野古 卑劣 即刻中止せよ

安倍政権 新たな土砂投入

県民投票 踏みにじる



新たな区域への土砂投入に抗議する人々。3月25日、沖縄県名護市辺野古（共産党のホームページより）

沖縄の辺野古米軍新基地建設で安倍政権は3月25日、新たな区域に土砂投入を強行しました。2月の県民投票で“辺野古反対”の揺るがぬ民意が示され、玉城知事が安倍首相と面会し土砂投入と工事の中止を求めています。民意をまったく無視し、中止するどころか埋め立て区域の拡大を強行するのは民主主義国家の所業ではありません。

辺野古には超軟弱地盤が存在し、大規模な設計変更が迫られています。しかも前例のない難工事で、専門家も実現性に疑問符を付けています。既成事実をつくってただただ工事を進めるやり方は卑劣。日本の民主主義に土砂が投げ込まれているのも同然です。

**日本共産党**

くらしに希望を。

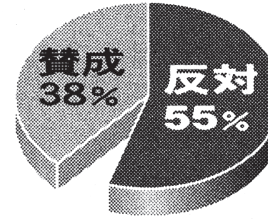
力あわせ、未来ひらく。

消費税10% 国保値上げ

Wパンチ くらし破たん

共産党躍進で増税・負担増ストップ

消費税10% 引き上げに



「朝日」3月16、17日調査

	年収400万円 4人世帯	年収240万円 単身者	年収280万円 高齢夫婦世帯
消費税10% による増税額	3.4万円程度	1.8万円程度	3.2万円程度
+国保料の値上げをあわせると…			
大阪市	7.4万円増	2.8万円増	4.8万円増
新宿区	13.3万円増	5.6万円増	6.8万円増

「家計調査」等から山下よしき事務所試算

国保料の値上げと消費税10%で国民生活はダブルパンチ。これでは暮らしが破たんしてしまいます（表）。

今でも高い国保料。ところが安倍政権は国保財政の運営を市町村から都道府県に移し、市町村が行ってきた保険料の抑制や独自の減免を困難にしました。国は減免などを全部なくして計算した「保険料の目安」に合わせて市町村に連続・大幅値上げの圧力をかけています。これに対し共産党は、全国知事会が求めた

「公費1兆円」投入で抜本的な値下げを提案しています。

消費税も政府が景気判断を下方修正するなど増税できる状況ではありません。共産党・志位和夫委員長が予算委員会で安倍首相と論戦。「増税できる」という根拠がすべて崩れ去りました。

選挙で共産党を躍進させ、安倍政権と自民党・公明党に厳しい審判を下せば増税・負担増は止められます。

**日本共産党**